

表1 クリニカルクエスチョンと推奨一覧(一部)

クリニカルクエスチョン		推奨	推奨クラス	エビデンスレベル
CQ1	下肢静脈瘤患者で無症候性の場合、圧迫療法は有用か？	下肢静脈瘤患者において無症候性の場合には、圧迫療法を原則的に施行しない	IIa	C (コンセンサス)
CQ2	慢性静脈疾患 (C1-C6) における疼痛の軽減に圧迫療法は有効か？	慢性静脈疾患 (C1-C6) における疼痛軽減に圧迫療法を施行する	I	A
CQ3	慢性静脈不全症による下肢浮腫の軽減に圧迫療法は有用か？	慢性静脈不全症による下肢浮腫を軽減するために、圧迫療法を施行する	I	B

表2 慢性静脈疾患とは(CEAP分類のC1-6)

- C1 : 毛細血管拡張、
クモの巣状静脈瘤 あるいは網目状静脈瘤
 - C2 : 静脈瘤
 - C3 : 浮腫
 - C4a: 色素沈着、湿疹
 - C4b: 脂肪皮膚硬化症、白色萎縮
 - C4c: 静脈拡張冠(冠状静脈拡張)
 - C5 : 治癒した潰瘍
 - C6 : 活動性潰瘍(潰瘍がある状態)
-

赤木大輔, 今井崇裕, 孟真, 他: 静脈学国際指標の日本語
翻訳事業1 - 翻訳事業総論およびCEAP分類. 静脈学
2021;32:69-76 より引用作成

図1 下肢静脈瘤(伏在型)



図2 下腿前面のむくみ(指圧痕)



図3 慢性静脈不全症によるうっ滞皮膚炎



図4 慢性静脈不全症による色素沈着



図5 脂肪皮膚硬化症



下腿内側の静脈瘤周囲の皮膚および皮下脂肪の炎症、色素沈着と皮下組織の繊維化を認める

図6 静脈性潰瘍

パブリックコメント用・改変不可

